

繰り返し「解きたい」 仕掛けをつくる



期限は当日、 学んでスグ知識を定着

「会計学のように、反復学習で知識を定着しなければ使いこなせない科目は、manabaのドリルと相性がいいんですよ」。

毎回、講義の復習としてmanabaの小テスト・ドリルを実施している松浦先生。解答期限を「その日の日付が変わるまで」に設定しているのは、翌日以降に持ち越すと知識が定着しづらいから。

期限をタイトに区切りつつ、出題数は5問に抑えて取り組みやすさにも配慮。あらかじめ作成しておいた問題からランダムに出題されるドリル形式を採用しているのも秘訣です。類似した問題が期末試験に出ると周知していることもあって、学生たちは1問でも多く解いておこうと、期限内に繰り返し解答。中には20回近く挑戦するツワモノもいるほどです。

解答はあえて出さずに、 考えさせる

「問題をコピーして、全部覚えようとしている学生もいますが、それだけ勉強してくれるのなら、別に構わないですよ」。

テスト結果は正否のみ開示され、解答・解説は出されないため、正解を丸暗記することはできません。自分で解くしかないという仕組みです。結果として不明点を認識し、質問に訪れる学生の数が増えたというのもうなずけます。学期末には、学生からの要望で過去の全問題からランダムに出題される期末試験対策ドリルも1週間公開しました。

フォローUPに使える、 データベース

さらに、ドリルは様々な面で学生のフォローアップに役立っています。まずは、やむ

を得ず休んだ学生に対してのフォロー。欠席してもweb上から問題を解くことができます。欠席した日のテキストを読むだけより、授業の論点が掴みやすいのは明らか。また、公認会計士など資格への意識が高い経営学部の学生にとっては、日ごろから選択肢問題に多く触れる習慣が、資格試験の良い訓練になります。

「今日やったことがテストに出るというだけで、学生はしっかり聞いてくれる等、教員側のメリットも高いですね。作成した問題は今後もずっと使えるものですし、最終的には500問程度のデータベースにしていきたいと思っています」。

加点はしない、 それでも出席は増加

講義冒頭に前回の復習を行い、出席機能を利用して出席確認。さらに重要部分を

穴埋め形式にしたレジュメを使いつつ講義を実施。最後に簡単な小テストをするという授業に加えて、講義後には必ずドリルを公開。

今年度から採用した授業パターンが学生に浸透したことで、出席は成績に加味しないと告知しているにも関わらず、出席者は確実に増加しました。

manaba機能の連動で、 授業が進化

さらに、manabaを有機的に使用したことによる成果も、着実に表れています。「会計制度論」は履修者が500名を超える大講義ということもあり、以前は一方通行な授業になりがちでした。ところが現在は「出席確認と同時に出席機能(クエスチョン)を利用してその場で前授業の理解度を問う」、「ドリルに難易度の高い問題を織り交ぜ、どれくらい解けるか理解度を測る」など、都度反応を見て授業展開に反映することができます。

「出席機能と小テスト機能を組み合わせることで、本当に分かっているかどうか把握できるようになりました」と語る松浦先生は、今後さらに出席機能(クエスチョン)を積極的に活用して、授業構成の中に取り込んでいきたいと意欲的。

「学生が自分のIDで責任を持って発言をする機能なので、教員も信頼して使えます。生の声を知るには、その場で聞くのが一番。授業の進め方やドリルの問題に関する正直な意見や要望は、常に欲しい情報ですね」。



タイトル	状態	受付開始日時	受付終了日時
ドリル アンケート	受付終了 未提出	2014-10-02 09:30	2014-10-02 14:00
ドリル 第1回 小テスト	受付終了 未提出	2014-10-02 10:30	2014-10-02 21:00
ドリル 第2回 ディスクロージャー制度	受付終了 未提出	2014-10-09 10:30	2014-10-09 23:55
ドリル 第3回 現金・有価証券	受付終了 未提出	2014-10-30 10:30	2014-10-30 23:55
ドリル 第3回と第4回小テスト	受付終了 未提出	2014-10-30 10:30	2014-10-31 23:55
ドリル 第6回と第7回 売上債権と棚卸資産	受付終了 未提出	2014-11-13 10:30	2014-11-13 23:30
ドリル 第8回 有形固定資産	受付終了 未提出	2014-11-27 10:30	2014-11-27 23:45
ドリル 期末試験対策	受付終了	2015-01-08 10:30	2015-01-14 23:30

会計制度論の小テスト一覧画面です。学生はここからそれぞれの小テスト(ドリル形式)を何回でも提出することができます。ドリルは約20問中5問が都度ランダムで出題され、学生へ正解は非公開、正誤のみ公開をする設定がしてあります。

授業規模

大規模

中規模

小規模

授業形態

講義

演習・実習

語学

manaba機能

小テスト

アンケート

レポート

プロジェクト

成績(採点結果)

掲示板

コンテンツ

コースニュース

出席